



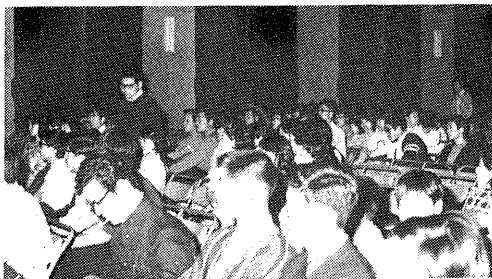
# 尚和会々報

発行所 尚和会  
 (桜塚高等学校同窓会)  
 発行責任者 木村 益子  
 編集責任者 田中 憲三

## ～43年度総会風景～

昨年度の総会には、アトラクションとして、川上のぼる、バーンズ、桂春喋、ファイファイザフリー等の方々に、御出演を願い、和気あいあいのうちに無事終了致しました。

以下の写真はその時の会場風景の一コマです。今年もっと充実した企画を立てておりますのでおさそい合わせの上御来校下さい。



〈川上のぼる〉



〈ファイファイザフリー〉

皆様おすこやかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。  
 さて本年度の総会を来る五月十八日(日)午後一時より母校校堂にて開催する運びに至りました。  
 何卒おさそい合わせの上、緑かおる母校見学かたがた恩師をたずねて、新旧とりまぜての交流に是非ご出席いただき度くご案内申し上げます。

尚和会会長 木村 益子

## 総会御通知

昭和44年度

14.30 ↓ 15.30  
 13.30 ↓ 14.30  
 13.00 ↓ 13.30

### プログラム

尚和会総会  
 講演：「大和朝廷成立前夜」  
 鳥越憲三郎先生  
 音楽：大学バンド出演

■日時：5月18日午後1時より

■場所：桜塚高等学校講堂

和洋酒・調味料・食料品

林 酒 販 株式 会社

本社 大阪市北区野崎町 63  
 TEL 06(312)代表1445番

北営業所 大阪市北区浜崎町 13  
 TEL 06(371)1281番

姉妹店 マルトヨ酒店  
 大阪市東淀川区小松南通 1-19  
 TEL 06(329)5034番

# 母校は目下健在です

学校長 北原 富男



桜塚高校長に就任して一年たちましたが、はじめから木村会長はじめ同窓会の役員のみなさんが親しくして下さるので、あまり新米の気分にもならず、楽しく勤めさせていただきました。

みなさまの母校の近況は極めて好調です。

学校内には、目下いささかの対立も波乱もなく、先生方が一体になって後輩指導に当たってくれております。

一時、桜塚高校には偏見教育があるという噂が流れたようですが、そんなことは現在まったく見当りません。

又、本年度の進学率が大変よかったです事併せて報告させていただきます。

昨年は恩露園の手入れをしたので、本年度は恵風園をやりたいと思っています。

適当な樹木のご寄贈があれば有難いことです。

なお、今年の卒業生の記念として学校の周囲を桜でうずめることにしております。

また、みなさんに懐かしい姿の体育館は、生徒の現状に合いかねるので、立派なものに建てかえることに決定しました。

ただ一つだけ心配なのは、世間の学生運動の波が本校だけ避けて通ることはないだろうということですが、

しかし、これとでも、現在の教師陣容なら大きな混乱に立ち回ることなくいとめられたいと思いが、同窓生みなさんのご支援をお願いいたします。

それから、英語の榎並市太郎先生、地理の大田智子先生がご退職になられます。

以上近況をお知らせします。

コンピュータという語は、まだ新語であり、一般化したとはいえないが、しかし、コンピュータが、早くも完全に実用段階に入っていることとはたしかのようです。

最近きいた話ですが、人間の生活でいちばん短い時間を瞬間といい、それは「アッ」という何十分の一秒かのごく短い発音にとどまる時間であって、いままでは人間には、これ以下の生活時間はなかったそうです。

ところが、コンピュータが計算する時間というのは、十の十乗分の一秒、すなわち百億分の一秒であり、この時間単位をピコ秒ともよぶのとことです。

つまり、いま生活化されている「瞬間」というのはピコ秒のことで、私共の暮らしの中にいよいよ二十一世紀的な魔像がちらつきはじめたという感じをうけます。

こんな急激な社会生活の変革の予感の前で、人間はとかく焦燥にかられ、不安定感もち、世界中がイライラしはじめるものであって、このイライラ病が流行すると様なことはあります。

戦争という悪魔はこんなところを温床にするものです。

わたしの青年の頃にはユートピア論が盛んでした。

そして終戦直後、社会党委員長の片山哲氏が内閣を組織したところ、この政権は「青い鳥を求め」ものであるといつて多大の共感をよんだものでした。

ユートピアは人間社会の理想郷でした。

しかし、いまや「コンピュータ」の時代が到来しつつあって、青い鳥を追う夢すらナンセンスと一笑されそうです。

何年とか何十年前とかいう同窓の生活にひたつてみるのはまことによき哉。

同窓会は、たたかに明け暮れるイライラ社会の湯治場であつてもよいのではないのでしょうか。

世界中の同窓会がみな健全に発展していれば戦争はおこらない………というのは飛躍しすぎた論理だが、そう思つても罪にはならぬでしょう。

最後にこの会報の編集長の田中憲三氏に一言御礼を申し上げ、尚和会の役員のみなさんの日頃の同窓会活動にあためて敬意を表するとともに会員みなさまのご多幸を祈りあげます。

▼同窓会の顧問として三年お世話いたゞいておりました母校の行徳康一教頭先生が本年四月一日付で大手前高校の教頭に御栄転になりました。

後任の教頭先生に、寝屋川高校より原清治先生をお迎えしました。

SSSSSSSSSS



焼きたての風味そのまま

## 銀包装のあられ

ハイサラダ・ハイミックス・ハイカラット・きりこ・きぬば

(3)

## 尚 和 会 会 報

昭和44年5月1日

## 昭和42年度 尚和会会計報告

￥912,676 収入総額  
 ￥898,173 支出総額  
 収支差引残高 ￥14,503 昭和43年度へ繰越

## 収入内訳

| 科 目    | 決 算 額    | 予 算 額    | 比較増減額△印減 | 付 記                   |
|--------|----------|----------|----------|-----------------------|
| 入 会 金  | 685,000円 | 685,000円 | 0円       | 1人1,000円 685名分        |
| 雑 収 入  | 247,508  |          |          | 預金利息78,303 その他169,205 |
| 前年度繰越金 | △19,832  | △19,832  | 0        |                       |
| 合 計    | 912,676  |          |          |                       |

## 支出内訳

| 科 目       | 決 算 額   | 予 算 額   | 比較増減額△印減  | 付 記                                 |
|-----------|---------|---------|-----------|-------------------------------------|
| 事 務 費     | 64,593円 | 75,168円 | 10,575円   | 理事会費3回7,600通信費13,033印刷代43,050文房具910 |
| 慶 弔 費     | 0       | 15,000  | 15,000    |                                     |
| 同窓会館維持費   | 0       | 20,000  | 20,000    |                                     |
| 卒業生記念品料   | 28,000  | 110,000 | 82,000    | 証書入紙筒 @40 700本                      |
| 東京支部援助費   | 15,000  | 15,000  | 0         |                                     |
| 会 報 発 行 費 | 447,030 | 200,000 | △ 247,030 | 会報印刷代 編集費 郵送料他                      |
| 総 会 費     | 224,350 | 100,000 | △ 124,350 | 総会通知ハガキ印刷代 打合会 アルバイト他               |
| 積 立 金     | 100,000 | 100,000 | 0         |                                     |
| 予 備 費     | 19,200  | 30,000  | 10,800    | 体育大会用楯2,000 校長歓送迎会費14,400 贈物2,800   |
| 合 計       | 898,173 | 665,168 | △ 233,005 |                                     |

## 昭和42年度 尚和会特別会計収支決算書

￥1,018,295 収入総額  
 ￥900,000 支出総額  
 収支差引残高 ￥118,295 昭和43年度へ繰越

## 収支内訳

| 科 目     | 前年度繰越金   | 本年度収入金額  | 支出金額     | 差引現在高△印赤字 | 付 記              |
|---------|----------|----------|----------|-----------|------------------|
| 尚和会積立金  | 800,000円 | 100,000円 | 900,000円 | 0円        | 三十周年記念事業費900,000 |
| 名簿発行積立金 | △ 45,255 | 0        | 0        | △ 45,255  |                  |
| 会館維持積立金 | 163,550  | 0        | 0        | 163,550   |                  |
| 合 計     | 918,295  | 100,000  | 900,000  | 118,295   |                  |

## 昭和43年度 尚和会経常費予算

| 収 入 の 部     |          | 支 出 の 部       |         |
|-------------|----------|---------------|---------|
| 科 目         | 予 算 額    | 科 目           | 予 算 額   |
| 入 会 金       | 685,000円 | 事 務 費         | 69,000円 |
| 雑 収 入       |          | 慶 弔 費         | 15,000  |
| 前 年 度 繰 越 金 | 14,503   | 同 窓 会 館 維 持 費 | 20,000  |
|             |          | 卒 業 生 記 念 品 料 | 30,000  |
|             |          | 東 京 支 部 援 助 費 | 15,000  |
|             |          | 会 報 発 行 費     | 330,000 |
|             |          | 総 会 費         | 100,000 |
|             |          | 積 立 金         | 100,000 |
|             |          | 予 備 費         | 20,503  |
| 合 計         | 699,503  | 合 計           | 699,503 |

尚、S43年度決算報告書、S44年度予算案は総会当日報告致します。

皆々様、御健やかに御過しのこと、および申しあげます。

さて本年は、昨年の総会風景をかねて御挨拶にかえさせていただきます。

総会は慣例五月の第三日曜日、19日11時から母校講堂にて開催、なつかしい先生方、それに新入会員を交えてまず開会の辞、私の挨拶、続いて新任、北原校長の御挨拶、内容は桜塚に対して強い愛情と信念をもって教育にあたられる所存をのべられると同時に在校生につながる卒業生としての自覚をうながせられると共に、尚和会へ励しの詞をいたしましたが、想いあらたに母校の健全な現状と発展を再認識した次第です。

次に事業報告では上田さんから母校30周年記念事業参加経過報告を主体に、今後も同窓会館設立募金をつのり40周年には、設立したい希望を、そして名簿発行に際して、御協力を依頼する話があり、会計報告では渡辺さんが42年度収支決算、並びに43年度予算案を発表、高田さんからは会館募金会計額を発表、全員より承認をうけました。

次で役員改選では参加人員少数のため、止むなく推選形式をとりましたが、副会長には真鍋正一氏（新・全・高3）上田孝彦氏（旧・定）を書記

## 総 会 風 景

尚和会会長 木村 益子

に田中憲三氏（新・高5期）永野昌子氏（旧・定）を会計には明石昭男氏（新・高4期）高田吉園氏（旧・高・16期）を、会長には再度私がその任にあたる結果となりました。

こゝに新、旧とりまぜて会の体質改善をはかると共に、川上のぼるをまねいて腹話術を公開。種あかしの一場面もあって爆笑。桂春のくだけた世話もの落語に驚いたり、笑ったり、後は、ザ・パインズやファイファイザフリーの演奏を聞く会員、エレキに踊る会員等、演奏者、会員一体となつての盛況で4時無事終了。再会をきして散会しました。

さて年一回の意義ある総会を、この様に、ある時は、映画、音楽、講演、運動、ダンスパーティー、演芸会を開催しておりますもの、こゝ、数十年30周年をのぞいては、旧会員の姿がみえず、せっかく来てくださった会員も何とはなく心細い気持ちで総会にのぞむのが現状。主催者側としては何とか多数参集出来る会に、もりあげ度く努力しておりますが、更に尚和会のあり方について、会員各位の積極的な意見を望む次第です。

なお誌上をかりまして、前谷田副会長には長年にわたり思想、宗教をこえて、親睦をはかり、会をまとめて来られました事を、又、多忙にもめげず会計、書記の任にあたられました渡辺、永井、豊川の各氏に、全員にかり厚く御礼申しあげて総会と一年の報告にかえさせていただきます。

## 近頃想う事

高三期 谷田 一彦

年々歳々花相似たり、歳歳年々人同じからず——学生時代に漢文の授業で覚えられた名句が最近身近に感じられる。昔は人生五十年と云ったが此の頃は寿命も延びて七十年が平均とされていく。それでも平均の半分を過ぎて働き盛りなのに何となく文頭の名句が気になるというのも時の流れ——之が時代であろうか最近私は他家に嫁いでいた妹を亡くした。子供を三人残してさぞ心残りであつただろうと思うと共に人生のはかなさ、空しさに胸が痛めつけられる。同窓の諸兄姉の名簿を見ても黒枠が増えていく様だ。特に同期の張本君の死亡通知には……学生時代男子バレー部の主将として又体育部全部の世話役として同期生は元より後輩からもかなり信頼されていた彼もとうとう此の世から姿を消した。

非常に話が湿っぽくなつたが何も自分が宗教界に關係あるから述べている訳ではない。この頃気になる事は近頃の大学生についてであり、就中現代に生きる青年としての心構えが一体出来ているのであるかと疑いたくなる事件が多すぎる。

自分等は云うなれば戦中派であろう。一部の軍人の無鉄砲とさえいえる戦争に引きずり込まれ多くの国民は空襲という前代未聞の苦い汁を否が応でも飲まされ挙げの果ては敗戦、その後に来た食糧難、インフレーション、新円切換等々二度と繰返したくない社会を生きて来た。日本の国民が殆んど等しく此等の難渋な世の中を何とかして生き抜いて来た。もう戦争はこりぐだ経験者の声は皆同じであろう。しかしそれからの日本はどうだろう。繊維、鉄鋼造船、自動車、機械の各産業界は二十数年の間に世界でもAクラスの生産を誇れる工業国に立派に生き返つた。国民個々の努力も勿論あつた事は否定しない。しかし一番に感じる事は、日本人の持つ勤勉性であり、更に他国には見られぬ、独特の忍耐力であろうと思う大きな視野に立つて堂々と歩く様に教えられた我々は今の学生に対してもう少し目を大きく開けて欲しいと望むと共に先は健全なる身体を持つて欲しいと切望する。

Tunic

チュニックの下着

BY YOKO KAMOI



日本観光旅館連盟会員  
日本交通公社協定旅館  
大阪市観光旅館連盟

おおさかの宿

旅館 葛城

(高3期 喜多岡敏之)

大阪 / 西区京町堀 1 丁目 41 電話 (443) 4588・4846

# 尚和会館設立寄金

## について

副会長 真鍋正一

母校の創立三十周年を記念して発起せられた「尚和会館設立寄金」募金運動は、会員皆様方の御協力により、現在末記の如き成績になっております。

御寄付いただいた方々に、この紙面を借りて、厚くお礼申し上げます。

この事業が起こされたいきさつについては、既に前号で

若松理事より述べられておりますので省略しますが、募金趣意書にもありましたとおり今年、来年といった短い期間を区切ったものではなく、事業の規模の大ききからしても少なくとも数年はかかる。息の長いものになると予定しております。従って、具体的に、いつ、どの様な形の会館を持つ様になるかは、未決定であ

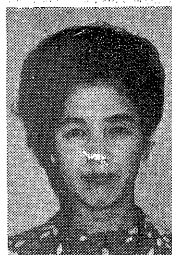
つて、これは今後、寄金の集積の状況と相俟って、検討されることになっております。

寄付の状況は、一部には相当多額の御寄付をいただいた方がある割には、全体として当初の予定をかなり下回っております。何かの行き違いその他の理由で、未だ御払込いただいていない方々は、この機会に御寄付いただきますようお願い致します。

この事業の性質から、できるだけ多数の会員方の御協力のうえに、私達の尚和会館が、少しでもりっぱに、そして一日でも早く完成しますよう御協力をお願い致します。

最後に、本来ならば、御寄付いただいた方々に、それぞれ御礼状と領収書とを送送すべきところではありますが、貴重な浄財でありますので、必要費といえども最少限度に抑えたく考えますので、これを省略させていただきますと共に、本紙面を借りて、詳細御報告させて、これに代えさせていただきます。なお、それ以上の詳細については、次号に御報告致したく目下鋭意整理中ですので、しばらく御猶予下さい。

|                |                                                                    |           |
|----------------|--------------------------------------------------------------------|-----------|
| 尚和会館設立寄金「運動状況」 | 高女一期                                                               | 五、〇〇〇円    |
|                | 三、四、〇〇〇円                                                           | 三、四、〇〇〇円  |
|                | 六、一、〇〇〇円                                                           | 六、一、〇〇〇円  |
|                | 三、三、五〇〇円                                                           | 三、三、五〇〇円  |
|                | 三、一、五〇〇円                                                           | 三、一、五〇〇円  |
|                | 五、〇〇〇円                                                             | 五、〇〇〇円    |
|                | 二、九、五〇〇円                                                           | 二、九、五〇〇円  |
|                | 九、五〇〇円                                                             | 九、五〇〇円    |
|                | 二、五、〇〇〇円                                                           | 二、五、〇〇〇円  |
|                | 二、〇、〇〇〇円                                                           | 二、〇、〇〇〇円  |
|                | 五、八、五〇〇円                                                           | 五、八、五〇〇円  |
|                | 七、〇〇〇円                                                             | 七、〇〇〇円    |
|                | 二、五、〇〇〇円                                                           | 二、五、〇〇〇円  |
|                | 四、〇〇〇円                                                             | 四、〇〇〇円    |
|                | 七、五〇〇円                                                             | 七、五〇〇円    |
|                | 一、一、五〇〇円                                                           | 一、一、五〇〇円  |
|                | 八、〇〇〇円                                                             | 八、〇〇〇円    |
|                | 一、七、〇〇〇円                                                           | 一、七、〇〇〇円  |
|                | 一、五、〇〇〇円                                                           | 一、五、〇〇〇円  |
|                | 二、四、〇〇〇円                                                           | 二、四、〇〇〇円  |
|                | 三、四、五〇〇円                                                           | 三、四、五〇〇円  |
|                | 五、〇〇〇円                                                             | 五、〇〇〇円    |
|                | 二、八〇〇円                                                             | 二、八〇〇円    |
|                | 二、九〇〇円                                                             | 二、九〇〇円    |
|                | 三、〇〇〇円                                                             | 三、〇〇〇円    |
|                | 三、一〇〇円                                                             | 三、一〇〇円    |
|                | 二、〇〇〇円                                                             | 二、〇〇〇円    |
|                | 一、五〇〇円                                                             | 一、五〇〇円    |
|                | 一、〇〇〇円                                                             | 一、〇〇〇円    |
|                | 一、〇〇〇円                                                             | 一、〇〇〇円    |
|                | 一、五〇〇円                                                             | 一、五〇〇円    |
|                | 一、一五、五〇〇円                                                          | 一、一五、五〇〇円 |
|                | 七二、一〇〇円                                                            | 七二、一〇〇円   |
|                | 以上                                                                 | 以上        |
|                | 合計金額                                                               | 七二、一〇〇円   |
|                | 尚、毎回申し上げておりますが卒業期は必ず御記入下さい。卒業期不明の方々の寄附金額が、一番多く、一万五千五百円もの多きに達しています。 |           |



高女一期  
塚田京子

尚和会の皆様お元気で御活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は御協力下さいますことを深く感謝し今後とも会の発展のため御力添え下さいます様お願い致します。

昭和三十五年木肖古い高女の卒業生として会長をつとめさせて頂き、その後は理事として折に理事会に出席させていただいただけで心苦しく、会を見守って参りました。宝塚市中山地区は最近住宅地として発展して参り、特に阪神間の住宅地としてクローズアップされ、日増に新住宅の建設が相次ぎ、通信機関のないこの地に置局請願し四十二年に決定し、局長志願者も多く、郵政省は広く公募しました。最近女性局長を阻止されるということも聞いていました、たまたま地元選出の参議院議員中沢いと子先生初めとして地元の方々の推薦によりまして、郵政省内生活二十余年の経験と婦人の特性を生

かし住宅地にふさわしい郵便局の運営に微力を捧げた思い局長を志願し四十二年六月に局長の命を頂きました。それから土地のばい収に手間どりようやく四十二年十二月二日開局致しました。最近局の利用者の殆んどが家庭婦人である状況を思うときこの閑静な品位ある中筋地区にふさわしい郵便局として局長の重責を自覚し利用者には本心に親まれ愛される郵便局づくり業務につとめています。

「光陰矢の如し」と申し高女卒の方々にはお子様が母校に入学し或は卒業されたり大学受験でおおわらわなことでございましょう。私に來ました年賀状の中に娘に孫が出来ておばあちゃんになりました。というのもあり今更の様に歳月の流れに驚くばかりです。私も一人息子が春大学を卒業し就職し局舎と住宅と一緒に建築し二人で生活しています。中山寺に参詣又はお近くに御越しの際は是非お気軽に御来局心からお待ち致しています

参議院議員

中沢いと子

事務用品・紙文具・事務機械  
スチール製品・結納用品

谷 木

谷木光一(桜塚高12期生)

岡 町 商 店 街  
電話 豊中(55)5858~9

木彫・工芸

からくさ堂

池側治三郎

豊中市桜塚商店街  
電話豊中(52)9727番

寝具・寝装品のことなら

藤井綿ふとん店

(高女7期藤井妙子)

阪急岡町駅東原田神社正面  
電話 52-5253・55-5258  
工場 52-5810

## 尚和会の皆様へ

大阪府立貝塚高等学校長 秋永 実

尚和会の皆様、御気嫌よくお過しのこの間、私、昨春、はからずも桜塚を去って、貝塚高校に転補せられました。

一つの教育方針が、何等かの実を結ぶには、時には、相当の年月を必要とします。四年余りの間、寧ろなく、多くの障壁があつても、貫くべきは、貫いてきました。意外に早く、学校を去ることになりましたが、私にとつては、全く時運と思つております。

任地に住居を持たなかった為、卒業生や地元の方々との交遊の範囲は狭かつたわけですが、「桜塚に傾倒して悔なし。」というのが実感であり私の人生に、有意義な体験をさせて頂きました。四年余りの間に、私を知つて頂き、懇切な御支援を頂いた、職員方を始め、尚和会、P・T・A、地元の方々に、衷心より感謝しております。私が、広島高師を卒業した時、赴任地として第一に志望したのは、南海地方でした。今、貝塚に来たことも、何かの奇縁と云えましょう。

### 心安まるもの

松宮達也

私が、この学校に奉職して早や五年になります。しかし、五年と言えども、いろいろなことがありました。楽しいことも、苦しいことも、いやなことも、特にいやな苦しい時など私の心を静め、勇気づけてくれたのが、桜塚の誇る枯山水の庭園であります。落着いたグリーンの木造校舎に赤い屋根、それらを背景に、大小様々な種類の生き生きとした木々、花、石灯籠、橋、大きな石、小さな石、石碑、池、そして、それをとり

ています。毎年、四月には、新入生を歓迎しているかの如く、大きな桜の木が庭一ぱいに咲き誇ります。恵風園では、藤棚があり、昼休みなど思い思いの場所で、友と語りながら食事を、又、芝生に寝そべりながら青春を語り合っている光景が、ほほえましく見られます。又、茶道部が、時々、こゝで、ゴザをひき野立てを心ゆくまで、楽しませてくれます。秋の文化祭の時など、庭園喫茶店として、軽音楽のメロディをバックに使われます。職員室に面した恩露園では、庭の通路になつてゐる枯山水の川、灯籠、石……。春に咲き誇る色とりどりのツツジ、そして、小さい竹藪、百年に一度咲くと言われる竹の花が、去年の暮咲きました。四季を通じて、色々な小鳥達も、やつて来て楽しんでおります。又、運動場に面して、去年の卒業生が、後輩のため、花壇を贈ってくれました。いろいろな花々を楽しませてくれます。しかし、少々残念なことは、三年程前の台風で、正門の一番大きな桜の木が倒れたこと、そして、恩露園のツヤツヤしていたこれ又、一番大きなサルスベリの木が枯れて切られたこと、それから、来た当時、玄関とか、庭のいたる所に、芝生が、いつもきれいに手入れされていたが、今は芝生がはげ、雑草の生えている所もあつて残念に思うことの一つである。そうはいっても、やはり、自然と調和した私の愛するすばらしい庭園であります。庭を眺めているだけで、色々なことを私に教えてくれます。現在、情操教育というものが、やかましく叫ばれている今日、教育の場にふさわしい庭園だといつも思っています。在校生、私達は勿論のこと、成長期に、こゝで学んだ先輩達も、意識的にも、無意識的にも、何らかの形で人格形成の上に、大きな影響を与えているのではなからうか。これからも、この庭を愛し大切に、自分を鍛えていきたいと思ひます。

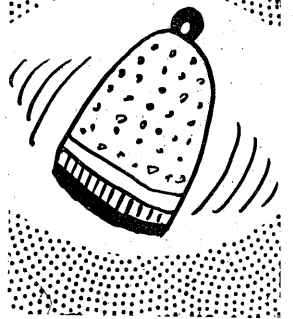
### 尚和会会員名簿

(6月新刊発売予定)

1部 ¥500 (送料100円別)

ご希望の方は同封の振替用紙にてお申込み下さい。

## 鐘のひびき



## 年 末 寸 考

## 閑 節 子

年末近く信濃大町に私用があつて主人の代りに急行した。本曽路に列車が入ると、線路脇の雪が、もう冬のよ、と語りかけるように柔かく覆っていた。乗車して来た関電の職員さん達は「昨夜から降積つたのですよ、暖冬異変の此頃珍らしく降残つたので長靴をはかないとね、とさりげなくいわれて……なるほどい、時に来たものだ……さぞかしスキーもお上手なんだろうなあ」といろいろ話しかけながら、田圃に水を入れてスケートをするという話を聞き、本心に羨ましくなった。自然こそ人間の心を素朴にし、素直に明るくするものはないだろうなああと感心しながら都会のいらだちと騒音から逃がれている自分が人間らしいものをやつと取戻したのではないかしらと思つて居た。大糸線はまだたきをさせないで、嫌という程銀嶺の北アルプスをみせてくれた。……ポーとしていたことの好きな私だけだ、魂まで吸込まれてしまったように……時間節約の為往復新幹線を利用することにしたのだが翌日も名古屋から自由

席にもぐり込めた。この列車の機能的な構造には感心した。不注意にも見逃がしてしまうような所からテーブルが出たりして、私を喜ばしたが、感心したのは列車に一括したクズ入(ダストシュート)がつけられていた。扉は自動扉だから、手に肩を抱えてもほうりこめるといふ一連の合理的配慮がなされている。さすがは国鉄技術陣の誇る所だな、とその社会性に敬意を表した。しかし、がつくりしたのはその後である。私の列車では老若男女、かつての普通車、急行車と同じく、食ベガラは椅子下どころか足元にコーラびんは窓辺に、誰一人として一連の合理性の利用者はない。……やつと新大阪に到着。新聞、週刊誌の置きミヤゲはふえたが、私は社会的感覚に相当乏しい人間と思つていたが、痛切に「魂のない成金」と日本経済の成長を酷評した英人のするどい批判力に首肯せざるを得なくなった。フランス、その他の国々が世界的驚異と目につけた、新幹線の技術、機能に……紙クズは屑籠に、という当然の態度を列車構造の中

に要求しながら、車中の我我はその次元にもついて行けない存在なのかと思うと、技術革新が進み、人間が住み心地よくなる態度を、人間自ら作り出しながら、それを使い切れないということは、何を意味するのだろうか。旅の解放感による現象なのか、掃除人の解雇に関するからか、否私が捨てなくても、誰かが捨ててくれるであろうから、それとも照れくさいのか、教師はすぐ口に出すだろう……社会教育の欠如と、家庭教育(疑)が社会に迄浸透出来るものでなければ……昨春秋篠寺の帰り、バス停での三十未滿の母と幼児の態度が忘れられない。

チョコレート(の包み紙をさりげなく子供から貰い、手さげに入れた母の姿を……きつと子供が父、母になつても、続くだろう。

茅誠司氏の「小さな親切」ではないが、一人一人の小さな生活の中での努力、次代を追って年輪の如く拡がって行かせたいものだと思います。又、教師スタイルの口調になりましたが、御許しの程を。

●送る先  
田中憲三  
豊中市熊野町三ノ三三四

▼会員の寄稿を求む！  
会員の皆様の近況・御意見その他何でも原稿をお願ひします。次号掲載

## 昭和元禄に想う

## 山口ウメ子

久しぶりに尚和会報でお目にかかります。もうそろそろ懐古談に花を咲かせてもよい年頃ですが、なかなかそのような呑気な(失礼)気分が侵つてはいられないというのが最近の心境です。

この頃の若い者はどだい目が離せない。ちょっと目を離すと何をしでかすか……深川の人情噺にでも出てきそうな台白ですが、そんな気持で毎日相も変らず男の子を追っかけまわしています。近頃は男の子だけでなく、女の子もなかなか勇ましく、昭和元禄の元禄がどんな意味かも知らないで唯その流れに誘われて浮かれ出すのでやりきれません。

多分今の生徒のお母さん達は本校では高女時代のかつて私にどなられた生徒さん達の層になるとと思いますが、このお母さん達のような覚悟で子女の養育に当って居られますかと質問したい思ひです。十年一日の如しは十年周期ですが、この頃のめまぐるしさは五年どころか三年、いや一年といいたところどころです。去年はあんなだったから今年も多分……なんてのんびり考

えていたら子供達は突っ走つてしまい、百米も離されてあれよあれよと後を追っかけていたのでは指導も何もない。だから、虎視眈眈と、あの手の手と想を練り、絶えず一歩先んずるの努力は相当のものとお察し下さい。二十五年の昔、世は戦争中、姫島の動員先の工場から生徒と共に豊中駅に帰りついた時、あ、今日も空襲もなく無事に生徒を連れて帰って来て一日が終りそうだと駅頭で大きく呼吸して何と豊中の空気がこんなにもおいしいものかとしみじみ感じたのですが、現在の平和な時世に之に似た気持で、あ、今日も無事で事件もなかったと考えるなどは、およそおかしい事ですが、否定出来ないものがあるのです。

昭和元禄は全く飛んでもないといばつちりを我々に及ぼします。余りに息がつまりそうな毎日なので雪にお腹を冷やして心機一転と思ひ、二月十一日の建国祭の前後をねらってみました。驚いたことに昔迎都なそれこそ陸の孤島の存在だった白馬山麓の細野部落が民宿でも団体予約で満員

陸運局認証工場

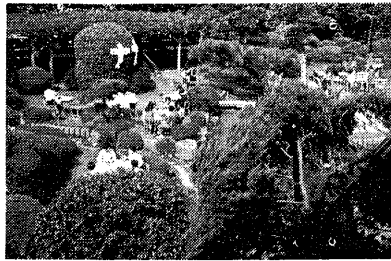
とらや輪業

代表者 榎本 泉  
(高女1期)東京都杉並区方南1丁目37番10号  
電話 (328)1481番

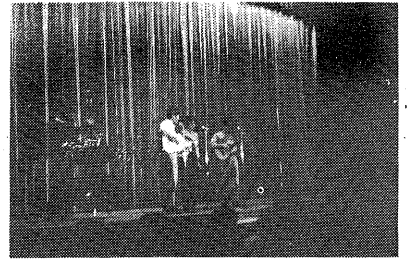




〈華道展〉



〈恵風園〉



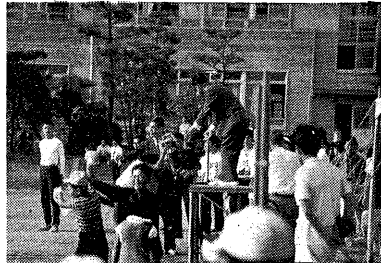
〈演 芸〉

## ▼文化祭

昨夜(九月二十七日)午後五時から二時間余り、燃えあげる火を囲んで前夜祭が開かれ、翌九月二十八日(土)から二日間にわたって、文化祭が開かれた。

例年通り、室内展示、講堂を使用しての発表(演劇、フォークソング同好会など)クラス参加の模擬店の三部門によってくりひろげられ、両日もなかなかの好評を博したが、毎年叫ばれている展示のマンネリ化の壁は破られなかった。

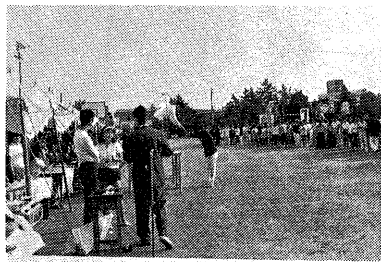
## ▼体育大会



〈学校長より賞状授与〉

十月六日(日)秋晴れの空の下で本校恒例の体育大会が開かれた。

予定より二十分も遅れた午前八時すぎに、各クラスの入場行進で幕をあげた。競技は



〈尚和会田中理事より賞状授与〉

一〇〇メートル走から始まり、選手も応援団も終始一生懸命であった。全員参加によるフォークダンスを最後に競技は全部終了し、その後、各クラスの成績が発表され入賞したクラスには、賞状と副賞が贈られた。



〈体育大会風景〉



## 学校だより

## ▼卒業式

二月二十五日(火)午前十時から、本校講堂において第二十一期生の卒業式が挙行された。

会場には、多数の来賓の方をはじめ、三年間直接指導にあたられた諸先生方が多く出席された。

また在校生代表として、各クラスから議員がそれぞれ参列した。

式は在校生が卒業生を歌で迎え、卒業証書授与につづいて、学校長が祝辞を述べられ、

( ) した後、来賓の方々から花束の贈呈などがあつた。そして在校生代表が送辞を述べ、それに対して卒業生代表から答辞があつた。卒業生から学校への寄贈品としては、コピーライター、ウォータースプレー、記念樹が贈られた。

最後に、卒業生代表からお別れの歌で送られ、深い学び舎をあとにした。

現在迄尚和会会報は毎年秋に発行致して居りましたが、今回より毎年の総会の案内を兼ねまして五月初に発行する様理事会に於て決定せられましたのでご了承下さい。



## —研究と技術ひとすじに30年—

日本臓器製薬が培った、この輝かしい伝統の中から、幾多の独創的医薬品が生みだされました。

増血総合栄養剤、マスタゲンははじめ、喘息発作止め、セダンゾール「イソ」など、日本臓器の医薬品は、今、国内はもちろん、広く世界の人々からご愛顧を賜っております。誠実、努力、奉仕、これが私共のモットーで

あり、今後も、すぐれた、医薬品の開発、普及を通じまして、皆様の健康と、明るい生活づくりに奉仕してまいります。

幣社創立30周年を記念し、ここにご挨拶申し上げます。

一層のご支援の程お願い申し上げます。

日本臓器製薬株式会社

社長 小西甚右衛門